

～家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより VOL. 19

ひょうご家庭応援県民運動とは

県民一人ひとりが家族・家庭の大切さを考え、きずなを深めるとともに、地域全体で多世代が交じり合い共に支え合う『地域三世代同居』の実現をめざし、地域で家庭を支える多様な取り組みを推進しています。

日暮れが早くなる時期です。子ども達が帰ってくる時間帯に「おかえり」の声かけを

11月下旬の神戸市の日没の時間は午後4時49分です。5時過ぎにはすっかり暗くなってしまっていますね。

5年おきに実施される『全国家庭児童調査』の平成21年度結果では、小学校5～6年生の帰宅時間は、午後4時前が40.2%、午後4～6時が46.6%。中学生は、午後4時前が14.5%、午後4～6時が49.0%、午後7～8時が20.6%となっています。

この時期、家族にかかわらず、近所の子ども達を見かけたら、あなたから進んで「おかえり」の声かけをするようにしてみませんか。

日々のあいさつや声かけは、その子どもに向けてだけではなく、周りにも聞こえ、そのことが防犯につながります。

地域の子どもを守るため、あなたのお宅の玄関先や辻に立つなどして、子ども達の今日も無事な帰宅を見守ってあげてください。

帰宅時間	午後4時前	午後4～6時	午後6～7時	午後7～8時
小学5～6年生	40.2	46.6	3.7	1.7
中学生	14.5	49.0	20.6	4.1
高校生	4.6	26.2	17.1	18.8

出展：「全国家庭児童調査」(H21.12.1調査実施)
厚生労働省調査 [H23.12.22公表]

平成26年度 ひょうご家庭応援県民大会を開催します

県民一人ひとりが家族の大切さやあたたかさを見つめなおす契機とするため、「ひょうご家庭応援県民大会」を開催しますので、ぜひご来場ください。[事前の申し込みは不要です]

〔内容〕

- (1) 日 時 平成26年11月29日(土)13:00～15:10
- (2) 場 所 兵庫県公館大会議室(神戸市中央区下山手通4-4-1)
〔JR元町西出口 北へ徒歩3分 (地図参照)〕
- (3) 主 催 ひょうご家庭応援ネットワーク会議、兵庫県
- (4) 参加者 250名程度
- (5) プログラム

○第7回「家族の日」写真コンクール表彰式

○講演「おやじの値段」上羽慶市(神戸親和女子大学客員教授)

○事例発表「地域の三世代交流」南中輝代(加東市連合婦人会理事)



子どもの安全確保について

家族のとらえ方が変わってきている現在、ひょうご家庭応援ネットワーク会議に参画している団体からそれぞれのお立場での家族・家庭についての思いや考え方を順次紹介することとしています。

4回目は、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会にご寄稿いただきました。

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会

性犯罪等の前兆ともみられる子供への声かけや、つきまといなどの被害は毎年ほぼ増加し、長田区での幼児殺害遺棄事件の発生など、子どもを取り巻く環境への不安が増大しています。

子どもの安全確保のためには、家庭、学校での安全対策に加えて、それらを取り巻く地域が一体となって子どもを見守っていくことが求められています。

このため、地域では、①登下校を中心とした見守り活動、②「ひょうご防犯ネット」による情報共有、③万一の時に危険を大人に知らせ逃げ込む「子どもを守る110番の家・店」の設置・運用、④子ども自らが危険を回避する防犯力を学ぶための防犯教室などの取り組みが進められています。個々の家庭においても、見守り活動への参加、「ひょうご防犯ネット」の登録、身近な「子どもを守る110番の家・店」の確認、防犯教室への参加などがに組みんでいただくことが重要です。

さらには、危険時を想定して日頃から子どもたちを対象にしたウォークラリーの開催や安全マップの作成、不審者対応訓練等も必要です。

しかし、すべての子どもを常時見守り続けることはできないことから、地域住民一人ひとりが地域安全の意識を高めるとともに、声かけ運動などを通じて地域のきずなを一層強める必要があります。かつて地域が持っていた防犯力の再生を図ることによって、犯罪を起こさせない地域づくりに共に取り組んでいきましょう。

<協議会について>

誰もが安全に、安心して暮らせる社会をつくっていくためには、警察による犯罪抑止活動だけでなく、県民や団体、事業者など地域社会の主体が自ら、地域社会において連携し、犯罪の防止などの活動を行う「地域安全まちづくり活動」が不可欠です。

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会は、県民のみなさんとともに地域での防犯活動が広く県民運動として展開されるよう、啓発活動を行っており、連合自治会、連合婦人会、青少年団体連絡協議会などの地域団体、PTA協議会などの教育団体や事業所団体及び行政団体等、全県を活動区域とする115団体が参画しています。

協議会ホームページも、どうぞご覧ください。

URL : <http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp>



協議会シンボルキャラクター
“マモリン”



— 編集後記 —

地域での子どもの見守り。その大切さが改めて浮き彫りになっています。

先般神戸市長田区で発生した幼児が被害者となった事件は、子どもたちの健やかな育ちと安全・安心を願う私達にとって、胸をかきむしられるような痛ましい事件でした。

家庭、学校、地域において、今の子どもたちを取り巻く環境は、私達大人が子どもの頃と比べて、大きく様変わりしています。インターネットの普及による中高生の「ネット依存」などもその一つです。かつては危険な場所に足を踏み入れない限り、危険と遭遇することはほとんどありませんでしたが、今では子ども達が家庭の自分の部屋から危険な世界に簡単にアクセスできる世の中になっています。

こういう時代だからこそ、私達大人がスクラムを組んで、しっかりと子どもの健全な育ちを支えていかなければなりません。一人一人ができることから始めることで、大きな力になると信じています。

11月29日の大会参加も心からお待ちしております。

(T.S)

作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議（こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団）

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局（兵庫県健康福祉部こども局男女家庭課家庭応援班）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3891

E-mail danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

